

(SPRING 支援対象学生対象)

## 査読付き論文等の研究成果の国際広報について

研究者としての発展を目指す SPRING 支援対象学生のみなさまの研究成果をいち早く世界に発信することを支援します。研究成果を広く世の中に知らせることは、研究成果を社会に還元するという点で大きな意義があります。また、研究者としてのキャリアパス開発につながることも期待できます。

対象となる研究成果（論文や著書・ブックチャプター等）の発表の予定がある場合は、本支援の活用をご検討ください。

### 1. 支援対象の研究成果

以下①②のいずれかの条件に合致するものを対象とします。

#### ①査読付き英語論文（査読がないものは対象となりません）

- ・申請者（SPRING 支援対象学生）が筆頭著者または責任著者
- ・当該論文の謝辞に SPRING による支援を受けていることの記載があること
- ・論文等の公表後 90 日以内

※ただし Predatory Journal（後述）の疑いがあるものは、支援対象にはなりません。

#### ②著書または book chapter（査読を経ているものに限られます）

- ・申請者（SPRING 支援対象学生）が執筆したもの
- ・出版後 90 日以内
- ・下記の出版社から出版された著書または book chapter

（国際研究広報の対象出版社）

Academic Press、Basic Books、Brill、Cambridge University Press、Columbia University Press、Cornell University Press、Duke University Press、Elsevier Science、Harvard University Press、Indiana University Press、John Wiley & Sons、Johns Hopkins University Press、Kluwer、Lexington Books、Massachusetts Institute of Technology Press、New York University Press、Oxford University Press、Palgrave Macmillan、Princeton University Press、Routledge、Sage、Springer International、Springer Nature、Stanford University Press、University of California Press、University of Chicago Press、University of Michigan Press、University of Minnesota Press、University of Texas Press、University of Wisconsin Press、Yale University Press

## 2. 支援内容

### ①英語リリース文の作成

サイエンスライターが研究論文をもとにリリース文を作成します。リリース文の作成にあたり、簡単な質問票（ニュースリリース質問票）への回答、写真・図等の素材の提供をお願いします。

※「英語リリース文の作成」は、研究論文の場合のみの支援となります。著書または book chapter の場合は、申請者自らがリリース文を作成してください。

### ②EurekAlert!への掲載

EurekAlert! (<https://www.eurekalert.org/>) に①で作成したリリース文を掲載します。

※「EurekAlert!」は、AAAS (American Association for the Advancement of Science) が提供する、世界最大規模のオンラインニュースサービスです。

※1人当たりの支援回数等の制限は設けません。

## 3. 申請方法

下記の form から申請してください。

<https://forms.office.com/r/CEZbHCznNQ>

### 【入力いただく項目】

（英語論文の場合）

- ✓ 学生 ID・氏名
- ✓ 論文タイトル
- ✓ 著者名
- ✓ 書誌名
- ✓ 公開予定日
- ✓

（著書またはブック・チャプターの場合）

- ✓ 学生 ID・氏名
- ✓ 著書タイトルまたは book chapter タイトル
- ✓ 著者名
- ✓ 出版社名
- ✓ 出版日

申請を受領後、SPRING 運営事務局において申請内容を確認の上、支援を決定します。申請し

た時点で支援が確定するわけではありませんのでご注意ください（SPRING 運営事務局からの支援決定通知を待ってください）。また、申請から支援決定まで、時間を要することがありますので、論文掲載の確定後、速やかに申請してください。

支援の決定後、別添の「ニュースリリース質問票」を作成・提出していただきます。また、ニュースリリースの作成にあたり、写真・図等の素材の提供をお願いすることもあります。あらかじめご承知おきください。

#### ★年度末における注意事項

「①英語リリース文の作成」の請求日が 2 月末を過ぎる場合、年度内の予算処理ができない場合があります。このため、当該年度に SPRING による支援を終了する学生（D3 生や DC2 採用による支援終了など）からの申請に関しては、同年度内での会計処理の見込みによって、支援が受けられない場合があります。年度末にかけて本支援を希望する場合は、できるだけ早めに申請の上、SPRING 運営チームとの調整を進めてください。

#### \* ) Predatory Journal

「predatory journal」とは、オープンアクセスのビジネスモデルを悪用し、著者が支払う論文投稿料（APC=Article Processing Charge）を狙った悪質な学術誌です。日本語では「粗悪学術誌」「ハゲタカジャーナル」「捕食ジャーナル」などと訳され、学術出版界における問題のひとつとして昨今頻繁に耳にするようになってきました。適切な査読が行われないため、投稿された論文の質が保証されていないのが実態です。

また、predatory journal の出版社は「著名な研究者を無断で編集委員として記載する」「インパクトファクターに類似した評価指標を使用する」「有名な学術誌と酷似したロゴや名称を使用する」など、様々な方法で健全な OA 誌を装い、研究者に論文の投稿を勧めてきます。料金や編集に関する情報が明示されていない場合も多いため、騙されて論文を投稿してしまうと様々なトラブルに巻き込まれる可能性がでてきます。論文を投稿する際は投稿する学術誌の見極めに注意を払わなくてはなりません。

（引用元：北海道大学附属図書館、[https://www.lib.hokudai.ac.jp/support/predatory\\_journals/](https://www.lib.hokudai.ac.jp/support/predatory_journals/)）

「predatory journal」の特徴や見分け方は、研究開発推進機構の Web ページに記載していますので、論文投稿にあたって参考にしてください。

[https://rd.doshisha.ac.jp/rd/inside/oa/oa\\_support.html](https://rd.doshisha.ac.jp/rd/inside/oa/oa_support.html)

以上